

# 第51回 広島県少年サッカー大会

## 第37回 広島県小学生総合体育大会（サッカーの部）

1. 期 日 2025年（令和7年）6月7日（土）～6月8日（日）  
6月7日（土）10：00予選リーグ  
6月8日（日）10：00決勝トーナメント 順位トーナメント  
表彰式 15：15～（決勝トーナメント上位4チーム）
2. 会 場 上下運動公園 油木多目的グラウンド
3. 主 催 公益財団法人 広島県サッカー協会  
広島県小学生体育連盟
- ☆. 主 管 公益財団法人 広島県サッカー協会第4種委員会
- ☆ 後 援 広島県教育委員会  
(公財)広島県スポーツ協会  
(公財)久保スポーツ振興基金  
(公財)広島県教育事業団  
(株)広島テレビ放送
4. 参加資格 (1)公財日本サッカー協会の第4種に加盟登録団体（チーム）であること。  
(2)公財日本サッカー協会の第4種に加盟登録団体（チーム）の登録選手であること  
(3)選手の年齢は、令和8年4月1日で13歳未満であること。  
(4)選手は、スポーツ傷害保険に加入していること。  
※選手は、大会期間中（予選を含む）、移籍をしての複数チームからの参加は認められない。指導者についても同様とする。
5. 出場チーム 各支部の代表16チーム（広島4 福山3 南3 尾三2 北2 西2）□
6. 大会規定 (公財)日本サッカー協会サッカー競技規則2024/2025および8人制サッカー 競技規則による  
(1)試合形式は、1日目は4チームのリーグ戦、2日目は順位別のトーナメント方式とする。  
(2)1日目の順位決定方法は、勝ち点制(勝ち3、分け1、負け0)とする。  
勝敗の決しない場合は、得失点差、総得点、当該チームの対戦結果、抽選の順で順位を  
(3)競技のフィールド  
①フィールドの広さは68m×50mを基本とするが、会場の大さきによっては変更可と  
②その他は、8人制サッカー競技規則に準ずる。  
(4)ボール  
試合球は、ミカサ社製「FT450B-BLY(4号球)」とする。  
(5)競技者の数  
競技者の数：8名  
①試合開始時に8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対5として敗戦したものを、  
②試合中に競技者が退場になった場合や負傷等により競技者が不足する場合には、交代要員必ず補充をして競技者を8名にして試合を再開する。但し、交代要員がない場合や負傷出血の理由により再出場が困難な場合は、両チーム合意の上極力同数にする。  
同数にした場合、治療が完了し、再出場する際に双方のチームが同数になるようにす  
③試合中に不慮の事故等で競技者の数が6名以下になった場合は、その時点で試合を中止とする。棄権とは、チームは負けとし記録は0対5として扱う。  
交代要員の数：8名  
(6)ベンチ入りするチーム役員の数  
①指導者2名以上3名以下とする。指導者は、指導者資格(D級以上)を保有していること  
(携帯での指導者証確認は認めない)

※登録選手確認時に、指導者証(プリントアウトしたもの)を提示し確認を行う。

※トレーナーや通訳が必要なときは、事前に大会本部に連絡・登録すること。

②その都度ただ1名の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

#### (7)審判員

1人審判制とし補助審判を置くこととする。

#### (8)テクニカルエリア

①マーカー等で競技規則に準じて設置する。

②テクニカルエリアに入ることのできる者は、

・競技会規定に従って試合開始前に特定される。

・責任ある態度で行動しなければならない。

・競技者が負傷するなどの特別な状況を除いて、エリア内にとどまっていなければならない。

#### (9)競技者の用具・ユニフォーム

①日本サッカー協会ユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない

②広島県サッカー協会4種委員会ユニフォーム規定に準ずる。

③対戦するチーム同士の代表者は、試合前に対戦相手の使用するユニフォームを

を確認し、フィールドプレーヤーとゴールキーパーがそれぞれ明確に判断しやすい組み合わせ(濃淡・同系色としない等)を調整したものをメンバー表に記載する。

※調整の手順としては下記を考慮すること

1.ホーム扱いのチームが希望する色彩を優先する。

2.主審や競技者が判別できる組み合わせを優先する。

3.当事者間で決まらない場合はや判断が難しい場合は、主審を交え、主審の判断の最も良い組み合わせを選ぶ。

4.ゴールキーパー同士の色彩が重なる場合、主審の判断があった場合のみ、同系色で行うことはできる。

5.セパレート式のソックスについては、踝(くるぶし)から上の部分が同色または同系色のものであるものとする。

#### (10)試合時間

①試合時間は30分(前後半15分)とする。ハーフタイムのインターバル(原則10分間)

②規定の試合時間内に勝敗が決しない場合(決勝・順位トーナメント)

(決勝トーナメント)

準決勝まではPK戦(ペナルティーシュートアウト)により勝利チームを決定する。

3位決定戦・決勝においては、10分間(前後半各5分)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK戦により勝利チームを決定する。

(順位トーナメント)→PK戦により勝利チーム数を決定する。

・延長戦に入る前のインターバル：原則3分間。

・ペナルティーキック方式に入る前のインターバル：原則1分間。

③アディショナルタイムの表示：口頭で行う。

④飲水タイムまたはCooling Breakを採用した際は、試合を停止した時間から試合を再開するまでの時間はアディショナルタイムとして追加する。

#### (11)交代の手続き

①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。但し、ゴールキーパー境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。

②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

④交代は、主審・補助審判の承認を得る必要はない。

⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

#### (12)警告と退場について

①本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の1試合に出場できず、それ以降の

処置については、第4種委員会規律委員会で決定する。

- ②本大会の異なる試合において警告を2回受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。ただし、本大会の終了時点で、累積の警告は消滅するものとする。

#### (13)負傷者の対応

負傷者が出た場合には、主審はアウトオブプレーになったときに、チーム役員（最大2人をフィールドに入場させることができる。競技者本人とチーム役員が競技続行可能と判断場合には、ピッチの外に出ることなくそのまま続けることができる。しかし、競技続行ないと判断した場合には、交代または極力人数を同数にして（両チーム合意の上）試合を続行

#### (14)暑熱対策

- ①(公財)日本サッカー協会が認める熱中症対策ガイドラインに基づき対応する。
- ②大会運営本部が試合会場にWBGT計を設置し、数値を計測する。
- ③計測の結果を受け、大会運営本部より飲水タイムやCooling Breakの有無を試合開始前または後半開始前までに両チームや主審に通知し、的確に対策を講じる。

### 7. 諸注意

- (1)登録選手は、個々の選手証または、登録選手一覧を持参すること。(写真つき)  
(確認は、そのチームが最初に試合する30分前までに、メンバー表と合わせて行う)
- (2)選手エントリーは25名までとする。ただし、1試合に登録できる選手は16名までとする(8名交代可) 交代選手のベンチでの服装は、ピッチ上の選手と見分けがつくようにする
- (3)傷害等については、応急処置のみとする。その後は、チームの責任に於いて処置する事。
- (4)開会式は行わない。表彰式には表彰チーム(1位~4位)のみ参加を原則とする。

### 8. その他

- ・3位決定戦を行う。上位3チームは、中国少年サッカー大会(7/19~7/21)に出場する権利義務を有する。
- ・各チームから大会参加料5,000円を徴収する。
- ・本大会に参加するにあたり、パンフレットやメンバー表等に記載される個人情報の使用、また、大会期間中に撮影された写真等の使用について、同意をお願いする。  
(大会運営の目的以外では、一切使用しない)